



祝卒業

卒業おめでとう！ いよいよ船出です

平成31年4月に入学した生徒たちが3月1日卒業の晴れの日を迎えます。3年生238名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学後に元号が令和にかわり、新しい時代がやってきたかのような気持ちでした。佐商の制服がまだなじまず、初々しいというか、まだ幼さが残る生徒さんたちでしたが、2年、3年と学年があがるにつれ、しっかりとした先輩の顔になり、今では選挙権ももつ「成人」で、次代を背負う立派な若者に成長してくれたと思います。

人生の中で高校3年間は短い期間ですが、就職・進学などの進路を考える密な時間をすごしたと思います。2年生の時の12月から流行しだした「新型コロナウイルス」の影響は、2022年の今もまだ続いています。まさか修学旅行が中止になったり、海外交流もできない、大会も中止になる、1日中マスク生活…今まで当たり前できていたことができないことが、こんなにつらいこととは思いませんでした。

このような生活の中でも「自粛」をきちんとできていたあなたたちは本当に素晴らしいです。時には大人たちからのきつい言葉や視線もあったと思いますが、よく頑張りました！進路についてもよく考え自分で内定・合格を勝ち取った人が多いと思います。部活動でも SSP 杯2年連続総合優勝、文化部の競技大会県内全制覇。。。あげればきりがありません。さすが佐商というところでしょう。

さて、この1年間の教育相談だよりでは、心の悩みや新型コロナに関する差別や不安などの解消に役に立つ情報を掲載してきました。12月のLHRでは「ストレス解消法」についてクラスで話あったりもしました。

これから卒業生それぞれが、選んだ進路先で、不安なこと、心配なこと、迷った時誰に相談したらいいかわからないときは、**家族や身近にいる信頼できる大人に相談してください**。親友たちとの会話で解決できるなら一番ですが、就職先に関することは先輩や上司、専門家に相談したほうがいいですね。厚生労働省のHP等に掲載している相談窓口もいいですし、就職先・進学先の相談窓口など必ずチェックしておきましょう。

※ただし！世の中には悩んでいるにわざと近寄って詐欺行為を行ったりする人もいます！

困った時は一人で判断したり、すぐ決断したりせずに、必ず誰かに相談してください。

就職する人は自分のお金の管理も。



送る言葉 「ファーストペンギンになれ！」

今回はドラマの話です。ちょっと前になりますが国営放送局の朝の連続テレビ小説『あさが来た』(2015年)。オープニングの曲「365日の紙飛行機」も話題になりました。波留さん演じる幕末京都の豪商の次女あさを主人公に、両替商から銀行業、関西経済界の振興に奮闘する姿を描かれていました。主人公のモデルは江戸期から続く豪商・三井家の娘である広岡 浅子さん。明治を代表する女性実業家で「女傑」とまで言われた人です。日本女子大学校(現・日本女子大学)設立にも尽力し教育者としても有名でした。ちなみに大隈重信も資金援助しています。

ドラマ中、まだ経営者として経験の浅い「あさ」に、ディーンフジオカ演じる「五代友厚」(大阪商工会議所をつくった人)が「ファーストペンギンになれ」といったセリフがあり、「ファーストペンギン」という言葉が一気に広まりました。私もあまり知らなかったのですが、「ファーストペンギン」とは、本来ビジネス言葉らしく、「前人未踏でリスクがある新分野にチャレンジする人」「チャレンジから利益を得る人」を意味するそうです。エサを求めて海に飛び込むのを躊躇するペンギンたちのなかで、氷の上から真っ先に海に飛び込む一匹のペンギン＝ファーストペンギン。まさしくチャレンジャー！本当の五代さんがこの言葉言ったかどうかはさだかではありませんが、いい言葉だなと思い心に残っていました。

従来の価値観に縛られず、未開拓の場所・分野に飛び込んでいく勇気・決断力は、コロナ禍の今に求められることかもしれません。

当然チャレンジには「失敗」のリスクもありますが、それを最小限に食い止めることもチャレンジのうち。ベンチャー企業が多国籍企業として成長することも。(スティーブ・ジョブズのように)

ある程度年をとると、なかなか「既存概念」「通例」を覆すことは難しくなりますし、モチベーションとか体力・気力が続かない時があります(気持ちはあっても体力が…)。

そこであなたたち若者の出番です。自分も含めてですが、たまには過去(世界・日本)の出来事を振り返って事実や結果について検討・反省し、コロナ禍の今やそのあとに何が必要か、何ができるのかについて考えてみてもらえたらと思います。



Topics

「一生懸命頑張りました。…まあ報われない努力だったかもしれないけど。」

(フィギュアスケート羽生結弦選手の言葉・2022年2月10日)

2月20日に閉幕した北京オリンピックで、史上初認定となった4回転半ジャンプを見せてくれた羽生結弦選手。ソチ、平昌に続き3大会連続の金メダルを期待されていた羽生選手でしたが、1日目ショートで8位と出遅れ、メダルも厳しいといわれていました。2日目フリーでは、大技での失敗リスクをさけて無難に演技するのでは？との予想を大きく超えて、4回転半にチャレンジし、転倒はしたものの公式に「4回転半成功」と認められました。結果は4位でしたが、羽生選手のチャレンジ精神、王者としてのプライドに感動しました。努力した結果がメダルではなくても、

世界中に感動を与えてくれてありがとう！(涙)



ご相談ごとがあればお電話ください

佐賀商業高校教育相談係(電話0952-30-8571)